

【当日出された意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
1	<p>（新型コロナウイルス感染症拡大防止） 大正区内の感染拡大防止としてどんな取組をしたのか。また、どのような評価をしているのか。</p>	鈴木委員長 /中村委員	区役所から感染者を出さず、業務を行える体制をとり、濃厚接触者健康観察や、前年度同月比35倍に増えた生活困窮の相談などに対応した。治療に関する相談はかかりつけ医にさせていただくと判断し、区民のみなさんとすれ違った感があったが、すべて大阪府全体のマニュアルに則って進めた。また、地域の医療機関と連携し第1波を大過なく乗り切れたと評価している。	吉田区長	回答と同じ	議事録 7～9ページ
2	<p>（地域福祉ビジョン（素案）） 第2章のデータが示している内容や課題が第3章の2の大正区の課題についてにすべて盛り込まれているのか。データが示している部分は丁寧に課題のところに書き込んでいくことが必要ではないか。</p>	鈴木委員長	ご指摘のとおり、一つ一つの論理的整合性がとれるよう努めたい。	吉田区長	「大正区地域福祉ビジョン（素案）」を修正したものを示す。 資料番号2 P.20～22参照	議事録 23ページ
3	<p>（大正区地域福祉ビジョン（素案）） 大正区の人口が一番少ないとあるが、減少率が一番大きいのか。</p>	中村委員	前回のビジョンでは平成27年の国勢調査の結果に基づいて起算しており、人口の減少率は西成区に次いで24区中2番目の6.3%でした。今年が国勢調査の年で、その状況はこれからになると思う。	こども・教育 担当	「大正区地域福祉ビジョン（案）」で人口減少について、よりわかりやすいものを示す。 資料番号2 P.4～6参照	議事録 23～24ページ

【当日出された意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
4	<p>（大正区地域福祉ビジョン（素案）） 全体の人口推移だけでなく年齢別の推移や、流入の人口についての資料があれば、担い手づくりに関連する資料になるのではないかと。</p>	鈴木委員長	なるべく早い段階で年齢別の統計と自然増、社会増などの流出入に関する資料は準備する。必要だと思われる統計データについて各委員へ照会をかける。	吉田区長	各委員へ統計データに関する照会調査を実施。その回答も含め、「大正区地域福祉ビジョン（素案）」を修正しお示しする。 資料番号2 P.4～9参照	議事録 24～25ページ
5	<p>（大正区地域福祉ビジョン（素案）） 第2章の3 大正区が抱える課題について「新しい力を取り入れるネットワーク」というものが、重点的に取り組むところのどこに当てはまるのか。また、なぜこの4つを重点的に取り組むところとして挙げたのかという根拠が分かりにくい。</p>	鈴木委員長	大正区が抱える課題について4つの施策で解決するというのは良いが、担い手不足を課題に挙げるとなると、この4つの施策への折込方など、区役所全体として協議しながら考えたい。	吉田区長	「大正区地域福祉ビジョン（素案）」を修正しお示しする。 資料番号2 P.23～24参照	議事録 26～27ページ
6	<p>（大正区地域福祉ビジョン（素案）） 地域福祉の推進は社会福祉協議会が軸になって進めていく記載があるが、その後企業や団体が新たな担い手として支援する側と書かれているが、社会福祉協議会がいろんな団体に呼びかけ、そういう組織を作るイメージなのか。また、新たに担い手を広げていくというのは「地域まるごとネット」で広げるのか。</p>	中村委員	今のところ答えがないという書き方になっているので、提言はありがたい。 区社会福祉協議会は事業者同士や専門職同士のネットワークを構築し地域福祉を充実する役割を担っていくのが正解だと個人的には考える。	吉田区長	社会福祉協議会に確認し、「大正区地域福祉ビジョン（素案）」を修正したものをお示しする。 資料番号2 P.23参照	議事録 27～29ページ

【当日出された意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
7	<p>（区社会福祉協議会） 区社会福祉協議会はその地域の社会資源の掘り起こしや、新たに団体に呼びかけ参加を促し、協力体制を作っていくのかと思っていたが違う。小学校区ごとにそういうものをつくるのであれば、区社会福祉協議会が呼びかけ、地域の人や団体などが集まって協議をしていくような形にするほうが良いと思う。</p>	中村委員	<p>大正区の重点目標とは同じだと考えており、課題にある地域福祉の担い手について区役所と両輪で頑張っていきたいと思っている。地域担当の区役所職員と連携し、各地域に入っていけたらと思っている。また、「新しい力」については本当に力不足のところがあると思うので区役所と一緒に頑張っていきたいと思う。</p>	区社会福祉協議会	—	議事録 29～30ページ
8	<p>（大正区地域福祉ビジョン（素案）） 障がい者の現状は手帳の所持者数では意味をなさなくなっており、サービス認定、障がい支援区分の認定をうけた人数や、受給者証が発行された人数増加が現状把握としていいのではないか。また、高齢化に伴って、介護保険でやっていけない利用者の方が障がいサービスを利用する割合が高まってきているという課題を区民の方に認識してもらう必要があると思う。</p>	姜委員	<p>いただいたご意見を参考にさせていただき、障がいサービスの利用等に関する資料を準備する。</p>	—	<p>「大正区地域福祉ビジョン（素案）」を修正したものを示す。 資料番号2 P.13～14参照</p>	議事録 31～32ページ
9	<p>（大正区地域福祉ビジョン（素案）） 地域福祉ビジョンで取り上げるべきデータとして、「困っていること、悩んでいること、不安なことに対する相談先。誰（どこ）に相談するケースが多いか」というデータを取り上げてはどうか。</p>	福西委員	<p>いただいたご意見を参考にさせていただき、「困っていること、悩んでいること、不安なことに対する相談先」に関する資料を準備する。</p>	—	<p>「大正区地域福祉ビジョン（素案）」を修正したものを示す。 資料番号2 P.19参照</p>	大正区地域福祉ビジョン（素案）についてのアンケート回答